

釣り大会

開催日：2021年7月10日(土)
労働福利委員会

懇親船釣り大会が、金沢八景の船宿「蒲谷丸」で開催された。昨年は新型コロナの影響で中止したため2年ぶりの開催となった。例年60名を超える参加があるが、今回はコロナ対策で密を避けるため43名、開会式なしで実施。船長からのレクチャー、各船責任者のルール説明後7時30分、快晴無風の中、3艘に分かれて出港、10分ほどでポイントに到着した。今回の釣りものは東京湾の金鯱、匹数で勝負。船長の「はじめてください」の指示で、それぞれ仕掛けを投入。しばらくすると、20センチくらいのアジが釣れはじめそこかしこで歓声があがる。中には30センチの大物を釣る人も！！11時過ぎにストップフィッシング、各船責任者が皆の釣果を記入、定刻の11時30分に帰港した。私が乗った船は食いが悪く低調だったが、それでもトップ16匹、他の船はトップ30匹以上の高釣果だったようだ。1位は36匹、2位、3位は各16匹。女性参加者8名全員にはレディース参加賞として蒲谷丸さん提供の「とろワカ



メ」が贈呈された。皆さん今夜のおかず（つまみ？）を手に12時前に解散。今回は天候も良く波もなく快適に釣りができた。来年も船釣り大会を予定しているので、東京湾の金鯱釣りに行きませんか？！

株式会社メビウス 渡辺直樹



優勝者：白石様

優勝	白石 大 氏	株式会社Fusion One
2 位	前山 浩志 氏	デジタルコム株式会社
	守屋 光博 氏	ピー・アイ・スクエア株式会社
大物賞	黒田 典昭 氏	シンボー情報システム株式会社

IT業界の発展を支え、団体としての地域貢献を通してステータスを上げる。

新たに神情協会長に就任された株式会社アイネットの坂井満社長に、福井広報委員長が話を伺った。

＊公益社団法人横浜中法人会の広報誌の「東西南北インタビュー」（7月号）にも掲載されました（写真は同誌引用）。

◆会長は横浜のご出身ですね。IT業界とはどのように関わってこられたのですか。

神奈川県六角橋の出身で、子どもの頃は家の近くの神奈川大学のキャンパスが遊び場でした。家業は築地の仲買でしたが、大学を卒業後は家業を継がずに、富士通株式会社に入社しました。仲買は継ぎませんでしたが「魚もITも旬が大事」という共通点があるんですよ（笑）。

その後、株式会社富士通マーケティング（現富士通Japan株式会社）の役員を経て、2015年に株式会社アイネットに入社し、2018年6月に社長に就任して現在に至ります。前期まで神情協副会長として常山会長をサポートしてきました。5代目の会長になります。

◆神情協の活動で特に印象に残っているものはありますか。

たくさんありますが、新卒から管理職まで幅広く対応している教育研修事業や、11大学で開催している「学生向けSE講座」には感銘を受けています。

神情協は多くの会員が自社の得意分野を活かして活動し、業界の仲間を増やしてスキルを高め合う、といったことに取り組んできた団体です。ボランティアの領域を超えて活動されている会員も少なくありません。また同じIT業界に籍を置く者同士が、社外行事としてクリスマス会や地引綱、フットサル、野球、ゴルフコンペなどを通してお付き合いできるのも素晴らしいと思います。

また、25回目を数えている「かながわ夢絵コンテスト」は、神情協の創立10周年を記念して始めた事業で、現在は独立してNPO法人こどもネットミュージアムが運営していますが、県内の小学生を対象にしたもので、過去の受賞者がエンジニアとして神情協会員各社に在籍していることなども面白い出会いであると思います。弊社の社員にも「小学生時代にあのコンテストで表彰された」という経験をもつ人がおり、こうした活動の大切さを実感しています。

◆今後のIT業界の展望はいかがでしょうか。

コロナ禍における環境への対応が進み、足もとの商談は増えていきますし、今後しばらく堅調に成長するものと思われます。働き方改革が徹底されてきているなか、コロナ禍において当初はパフォーマンスの出し方が分からなかったようですが、徐々にノウハウが生まれ、パフォーマンスが上がっていると感じます。「非接触」「非密集」に関連したITビジネスはさらに拡大していくかと思います。

また、DX（Digital Transformation）に取り組むユーザー企業が増えてくると思います。しっかりサポートできる力をつけておくこともIT業界に求められています。

◆神情協会長としての抱負をお願いします。

団体としてIT業界の発展を支援しながら、地域貢献、社会貢献を通してステータスを上げていきたいと思っています。これまで神情協の先輩方が取り組んできた活動をしっかりと受け継いで推進し、それを内外にアピールして、参加者の輪を広げていくこと。ただ、当協会の県内における認知度はまだまだだと感じています。

銀行、報道、出版、物流、接客業、サービス業はじめ、すべての業界の活動をITが支えています。我々は、素晴らしいアイデアによって活躍の場をつくることで、世の中を変える、世の中を良くしていけることに自負をもって欲しいと思います。社会には解決すべき課題がまだ多くあります。

引き続き、会員企業と神情協の活性化のためにも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



今回のテーマは「『テレワークでも開催できる社内イベント e-レクリエーション』～社内コミュニケーション、チームビルディングに～」でDAS株式会社の代表取締役小川真輔氏を講師にZoomによるオンラインセミナーを開催した。



昨年からテレワークを実施している企業が増える中、コミュニケーションの課題がクローズアップされている。企業や従業員が感じているテレワークの利点と課題、コミュニケーションの活性化につながるオンラインでのレクリエーション事例を紹介いただいた。

テレワーク制度を導入する企業が増加し、従業員は「時間の有効活用」や「通勤ストレスの軽減」といったメリットを感じている。しかしコミュニケーションの課題があることも明らかになっており、コミュニケーション不足から疎外感や孤独感を感じている従業員も多い。企業もコミュニケーションの課題については認識しており、多くの企業が様々な方法で改善活動を行っているが、一方で課題解決に向けた対策を行えていない企業も少なくない。コミュニケーション不足は下記に影響を及ぼすと考えられており、組織のエンゲージメント強化に社内コミュニケーションが必要であることは明らかである。

- ・情報共有
- ・部門間の連係
- ・業務中の気軽な相談や質問

- ・精神的ストレスの軽減
- ・モチベーションの維持向上

今回のセミナーで紹介いただいた「謎解き宝探しオンライン」は、オンラインイベントとしてコミュニケーションの促進を図るだけではなく、チームビルディングやリーダー研修といった場面でも活用されている。

コミュニケーション不足解消のために雑談の場を設けることがあるが、発言が特定の人物に偏ったり、共通の話題がないために活発な発言に繋がらない場合がある。

レクリエーションを行うことがコミュニケーションの促進に有効なのは勿論だが、オンライン上でのコミュニケーションは、オフライン以上に「自分の意思を伝える」「相手の意思を引き出す」ことが重要になるため、このサービスを活用することで「コミュニケーション技法を磨く」ことにも繋がる。レクリエーションの場だけでのコミュニケーションではなく、職場環境をより良いものにしていけるという点でも非常に魅力的だと感じた。出社勤務からテレワークに切り替わったことで、コミュニケーションの課題が生じるというのは私自身も経験した。

今回のセミナーでは、企業と従業員がどのような課題を認識しているか、解決に向けてどのような取り組みをしているか、ということを経営者から説明をいただき非常に興味深いものだった。コミュニケーション不足は作業効率の低下だけでなくメンタルヘルスにも影響を与える問題なので、今回のセミナーで学んだことを活かして、より良い職場環境の構築に向けて対策、取り組みを行っていききたい。

ナレッジビーンズ株式会社 山野豊嗣

第61回神情協ビジネス・フォーラム

開催日：2021年7月15日(木)
企業経営委員会



第61回ビジネス・フォーラムは、神情協単独でホテル・ザ・ノット ヨコハマで開催した。まん延防止等重点措置の中、第二部の懇親会を中止し、ソフトドリンクを提供した名刺交換会の実施となった。

今回も、「密」や「飛沫感染」を防止すべく参加者はリアルとZoomの併用、入口での検温と記録、アルコール消毒、マスク着用義務、飛沫防止板設置等、想定し得る可能な限りの対策のもと、会場参加54名、Zoom参加7名の合計61名で実施した。

坂井会長の挨拶から第一部商談会が始まり、鈴与シンワート株式会社、株式会社エクス、株式会社ネットフォレスト、共栄企画システム株式会社、明治安田生命保険相互会社、株

式会社エイ・シー・ティの全6社が発表を行った。発表内容は、オンライン社内申請、鉛蓄電池の再利用、インターネット環境、レンタルスペース、健康経営と今話題となっているキーワードのDX推進、コロナ禍のテレワーク環境、SDGsを盛り込んだサービスなどが多く、興味深い内容で参加企業も真剣に聞き入っていた。

第二部は、守屋委員長によるゲスト企業2社の紹介、神情協の各委員会の活動内容説明、名刺交換会を実施。コロナ禍が続く中であるが、神情協がビジネス交流に貢献できたフォーラムであった。

株式会社アイティサーフ 内堀徹男

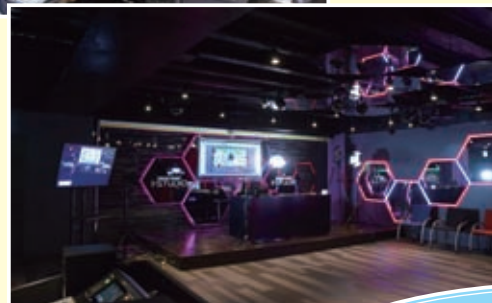


学校法人岩崎学園 情報科学専門学校

1983年に神奈川県下初の情報系専門学校として開校し、IT・IoT・AI・セキュリティなどの分野において、先端技術を有した、発想力豊かなスペシャリスト・トップガン人材を育成しています。企業や行政との産学連携や、インターンシップ、本学園姉妹校である他分野の専門学校とのアイデアソン・ハッカソンは勿論、学内外コンテストにも積極的に参加し、「第45回技能五輪国際大会（ロシア連邦・カザン）」のサイバーセキュリティ部門に、本校学生が日本代表として出場し、敢闘賞を受賞するなど、資格取得や就職活動に加え、社会での実践的な教育活動を行っています。

今後も、急成長するIT社会のニーズに応えられる人財の育成に取り組んで参ります。

所在地：神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-17 相鉄岩崎学園ビル
設立：1983年
学生数：1,413名（2021年5月時点）
主な学科：情報セキュリティ学科、実践AI科、先端ITシステム科、情報処理科、実践IoT科、Web技術科、ビジネス科
電話番号：045-311-5562
URL：<https://isc.iwasaki.ac.jp/index.html>



学校

横浜公務員&IT会計専門学校

横浜公務員&IT会計専門学校（旧校名：東京IT会計法律専門学校横浜校）どこま〜でも♪のCMでおなじみの学校法人立志舎グループ、公務員・公認会計士・税理士・情報処理の専門学校です。

学校の特色は、学生同士が教えあうスタイルの「ゼミ学習」です。クラスの中で6〜8人グループの「ゼミ」をつくって、学生たちはその中で問題解決に向け、教えあいながら勉強していきます。理解しづらかったところや疑問点をすぐにゼミの仲間と相談することができるので、楽しく学べます。教える側に回った学生も、さらに理解を深めることができ、お互いがよい影響を与えあって、全員の実力を大きく伸ばすことができ、合格実績や就職実績に繋がっています。

所在地：神奈川県横浜市神奈川区台町9-5
設立：2002年11月1日
学生数：312名
主な学科：会計学科、ITビジネス学科、法律学科、行政学科
電話番号：045-290-0035
URL：<https://www.yokohama-kaikeihoritsu.ac.jp/>



情報系専門学校との情報交換会

開催日：2021年9月3日(金)
産学連携委員会

情報系専門学校と神情協との情報交換会が専門学校13校20名、神情協会員43社56名の参加を得て初の完全オンラインで開催された。

坂井会長からIT業界の発展性や働きやすさについてお話があり、有意義な会にしたいとのこと挨拶があった。続いて富樫産学連携委員長から、神情協の概要や、感染対策を講じたIT就職フェアの開催と専門学校生も多く参加いただいたことへのお礼、学生ITコンテストなど産学連携の取り組みについての紹介があり、活発な意見交換を期待すると、お話があった。

青木副委員長の進行のもと、各専門学校より就職状況やオンライン対応状況などについて説明が行われた。専門学校からは「対面とオンラインで合否に違いがあるか」、「留学生

採用にどのくらい積極的か」、「適性検査の水準に変化はあったか」という質問や「内定率は昨年比では上昇したが例年に比べると低く、まだ就職活動中の学生も多いので募集継続企業を紹介したい」との意見もあった。企業側からは「インターンシップに求めるもの」や「説明会での学生の関心」について質問があがり、完全オンラインの中でも学校と企業との活発な情報交換が行われた。

例年実施されていた懇親会も中止となったが、最後に板橋副会長より、学校とも協力しコロナ禍の中でも工夫を考えていきたいとお話があり、今後もさらなる産学連携強化が期待される場となった。

ジスクソフト株式会社 富澤慶二郎



湘北短期大学は、学校法人ソニー学園により設立された総合短期大学です。

総合ビジネス・情報学科の情報メディアコースでは、携帯アプリやゲーム開発、webサイトや映像制作など情報サービス産業の担い手を育成するため、プログラミング言語の修得はもとより、プロジェクト形式の実践的な学びや基本情報技術者試験午前試験免除制度に対応するカリキュラムで、学生の技術修得をバックアップします。

また、専門的な学びや資格取得だけでなく、リベラルアーツ教育やサークル・委員会活動を通じて豊かな人間力を醸成します。来る2024年に創立50周年という節目の年を迎え、更なる教育改革に挑み、神奈川・東京を中心にきらめく人材を輩出し続けます。

所在地：神奈川県厚木市温水428

設立：1974年

学生数：1012名（2021年5月1日）

主な学科：総合ビジネス・情報学科、生活プロデュース学科、保育学科

電話番号：046-247-3131

URL：<https://www.shohoku.ac.jp/>

横浜システム工学院専門学校



本学は1979年、神奈川県初の情報化人材育成校「横浜コンピュータアカデミー」として設立後、2006年、「横浜システム工学院専門学校」に校名を改称し、以来情報サービスの業界で活躍する人材輩出を目指して教育活動を展開しています。

2014年には職業実践専門課程の認定を受けるとともに、授業運営では神情協会企業の皆様のご協力を賜りながら、実学的で魅力ある学修機会の提供に努めております。また、本学卒業生の多くが神奈川県出身者であり、卒業後は県内でPG、SEとして働くことを希望しています。

今後とも皆様のご理解とご支援のもと、一人でも多くの学生に就労の機会を賜ることができましたら幸いです。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

所在地：神奈川県横浜市旭区東希望が丘128-4

設立：1979年

学生数：402人（9/1現在、1年生、2年生の合計在籍者数）

主な学科：IT・ゲームソフト科、ロボット・IOTソフト科、AIサービス活用科

グローバルITビジネス科

電話番号：045-367-1811

URL：<http://www.yse.ac.jp/>

「大学向けSE講座」協会内講師間情報交換会

開催日：2021年9月17日(金)

SE講座特別委員会

神情協事務局会議室でWeb会議「大学向けSE講座」講師間情報交換会が講師29名の参加で開催された。会議の冒頭、小川名委員長から「SE講座の講師の方々は、IT業界の知恵袋であり、SE講座を発展させるために色々知恵を絞って取り組んで欲しい」と挨拶があった。

情報交換会では、新たにSE講座講師に認定された2名の講師の紹介、挨拶が行われ、後期4大学の講師アサインを確認。後期SE講座から大学毎に講師チームを明確にし、チーム全員で責任ある活動を行うこととなった。

その後、前期SE講座を実施した4大学から報告を行った。「当日の受講と、後日録画によるビデオ受講を行っている」「講座前半よりも後半の業界の話が役立った」「講座後

のアンケートでIT業界志望が増加した」「Web講座で顔が見えないので、チャットでリアクションさせ聴講を確認した」「特別授業の依頼があり産学連携委員会の協力を得て学生との直接対話を行った」など、各大学に色々な特色があり講師が工夫している内容の報告があった。

また、Web講座の学生から人気の講座を行っている株式会社アナザーウェア鈴木講師から、WebによるSE講座の実演紹介があった。教室スタイルの講義、照明の工夫、資料の見せ方など、知識を上手に伝達するための工夫があり、参考となった。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が継続しており懇親会はなかったが、有意義な情報交換会であった。

テクノスクエア株式会社 渡部雄三

中小IT企業における『広報とブランディング』セミナー

開催日：2021年8月26日(木)
広報委員会

広報委員会対外事業第二弾として「中小IT企業における『広報とブランディング』セミナー」を開催した。講師は、長年にわたり様々な企業の広告・広報、ブランディングに関わってきた、株式会社エルテックス広報室長兼株式会社A5bp代表取締役の六角健二氏。当日は委員会メンバーを中心に43名の受講者にご参加いただき、Zoomによる講演を1時間半にわたり行った。



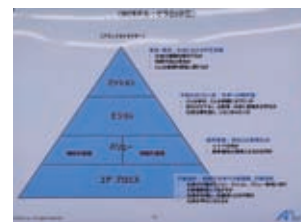
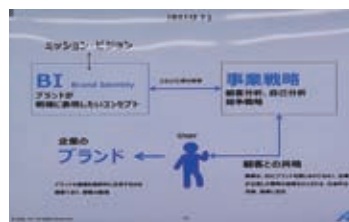
「広報と広告はどうちがうか」「中小IT企業こそブランディングが必要なワケ」「神奈川の中小IT企業における『広報とブランディング』具体的な提言」の3テーマについて、具体的な事例と、広報業界の裏話などを交えたユニークな解説をいただいた。

「神奈川に拠点を置いているIT企業に、広報やブランディングは必要なのか」という疑問を持たれる方は多いだろ

う。しかし、システムやソリューションという無形のサービスを提供する情報サービス産業だからこそ「サービスの見える化＝ブランド化」が必要であると六角氏は語った。企業としての使命や価値を明確化することがブランディングであるならば、その企業の在り方を、社外はもちろん社内にむけても理解・共感を得るためにコミュニケーションをはかることが広報なのではないかと感じた。

顧客との信頼関係を構築するための新しいコミュニケーションツールとしてブランディングや広報を位置付けるとしたら、自社ではどんな展開が可能だろうかと、考えずにはいられなくなる貴重な機会であった。

株式会社ソフテム 林 悠依



ものづくり×ICT連携フォーラムinかわさき（第6回）

開催日：2021年9月22日(水)
川崎市交流委員会

川崎市工業団体連合会（工団連）との合同主催（川崎市・公益財団法人川崎市産業振興財団の共催）で開催している本フォーラムも今回で6回目となり、参加者数はオンライン（Zoom）での参加者も含め124名集まり盛会に行われた。また、緊急事態宣言中ということもあり、シーズ発表企業とシーズに興味を持つマッチング希望者のみ会場参加、それ以外の参加者はオンラインでの視聴とし、感染防止を徹底しての開催となった。

今回の特徴として、本フォーラムの元々の主旨であるものづくり企業との連携ならびにICTを活用した生産性向上・働き方改革という取り組みに加えて、川崎市が注力している知財交流会に代表される「オープンイノベーション」の枠組みを付加した形となったこと。シーズ提供企業の製品やサービス、技術と連携を図ることで、ものづくり企業やICT企業の生産性向上や付加価値向上を実現して行くことを狙いとしており、会場となった川崎市産業振興会館内の「サクララボ」も企業の生産性向上を支援するラボであり、今回の新たな取り組みに相応しい会場となった。また、シーズ発表企業は6

社で、神情協からは株式会社メタテクノ「非接触タッチセンサーによる新たなものづくりへの挑戦」、株式会社アイネット「ニューノーマル時代の環境対策－CO2データ分析サービス」の2社に発表いただいた。

シーズ発表企業とのマッチングも活発に行われ、まだまだ先行き不透明な時代ではあるが、ここから新たなイノベーションが創造されることを期待させるイベントとなった。

株式会社アルファメディア 小湊宏之



第1回オープンセミナー

開催日：2021年10月5日(火)
技術委員会

第1回オープンセミナー（DevSecOps とGitHub 社のツールを活用した実践例）が、GitHub社のDirector Sales, Japan山銅章太氏よりオンラインで実施された。急速なビジネスの変化に対応するため、agile開発や、開発チームと運用チームの部隊が協働するDevOpsが広がり始めている。しかしながら、DevOpsによってソフトウェア開発の生産性は向上するが、セキュリティチームはこの対象になっておらず、開発の最終段階でセキュリティの問題による大きな手戻りが発生することが少なくない。この課題を解決するために、昨今、DevOpsの進化型として期待される、セキュリティチームも開発の初期段階から協働するDevSecOpsについて紹介していただいた。GitHubの提供するその他の機能やサービスについての紹介もあり、ソフトウェア開発のプロセス改善や生

産性向上について考えさせられる時間となった。また、長めの質疑応答時間を確保していただき、参加者の疑問や悩みについて応答してもらうことで、今後DevSecOpsを実践していく、よいきっかけになったのではないかと考える。

株式会社哲英 矢野英治



シリーズ会員企業紹介

■株式会社ビット

株式会社ビットは平成元年の設立以来、今年で34期を迎えました。

平成から令和へと時代が変遷し、コロナ禍で社会的環境も変化する中、われわれの事業も大きく変化しております。

創業時はオペレータ業務を中心に事業を行っていましたが、平成の半ば頃からソフトウェア開発に特化した会社に転換いたしました。研修制度を充実させ、エンジニア社員のスキルアップを図り、自ら開発できる技術者集団になることで業種を問わず対応してきました。昨今は数年かけて研究開発していたAI・IoT分野が事業化し、特定の企業様と共同で構造物倒壊の危険性を事前に検知するこ

とを目的に、ワイヤレス振動センサで遠隔地から構造物の常時モニタリングを実現するシステムを開発しております。

一方、平成26年に持株会社ビットホールディングスを設立し、親会社のもとで株式会社デジタルワークフォース（※1）や株式会社ビットグローバルユニット（※2）とシナジー効果を発揮してきました。今後もグループ全体として情報技術に基づくソリューションを展開し、社会に貢献していきたいと考えております。

※1 RPAの販売・コンサルティング等、RPA導入支援をワンストップで提供

※2 海外人材を中心としてITサービスを行うバイリンガルの技術者を提供



設立：1989年3月23日
資本金：3,000万円
売上高：6億円
社員数：66名
住所：横浜市西区みなとみらい四丁目4番2号
横浜ブルーアベニュー5階
Tel：045-640-5571
URL：https://www.bit-corp.co.jp/

■新明和ソフトテクノロジー株式会社

弊社は1986年10月、新明和工業株式会社の子会社として設立され、今年で35周年を迎えました。創立当初は新明和グループを中心に機械設計やCAD関連、受託開発を得意としておりましたが、昨今は新明和グループトータルサービス以外にもグループ外のお客様に関して、以下の3つのソリューションにて事業を展開しております。

①製造業ソリューション

製造業子会社の強みを生かした受託開発以外にも、弊社子会社ゴードーソリューションのIoTソフト「Nazca Neo Linka」や離散事象モデルを採用した3Dシミュレーションソフト「FlexSim」（アマゾンジャパンも使っています!）、長年のSOLIDWORKS経験を生かした自動設計を展開しております。

②セキュリティソリューション

テレワーク時代に適したセキュリティソリューションとして一番はBlackBerry。「BlackBerryってあのキーボードがついてる小さい端末?！」は昔の話。今はソリューションとしてiOS、Android、Windowsデバイスなど、さまざまなデバイスに対応しております。

③ビジネスソリューション

企業ワークフロー向けシェアNo.1のintra-mart関連の開発や、最近ではテレビCMでも見かけるようになったクラウドサービスのkintoneなど、業務系サービスの開発も得意としております。

ただ、弊社だけでは現在の市場スピードにはついていきません。そこで、グループ方針である「協創（共創）」を掲げ協業先を増やす取り組みも始めております。神情協の皆さんと是非一緒に「協創（共創）」ができますよう今後とも宜しくお願い申し上げます。



設立：1986年10月1日
資本金：1億円
売上高：28億円
社員数：166名
住所：神奈川県川崎市幸区大宮町1310番地
ミューザ川崎セントラルタワー26階
Tel：044-520-3122
URL：https://www.stec.co.jp/

■株式会社神奈中情報システム

当社は、2002年に神奈川中央交通(株)から分離独立し、同社のバス事業向けのシステム開発・保守運用を事業の中心に据えて事業活動を行ってまいりました。現在では、この中で蓄積したノウハウを基に、同業のバス事業者様に加え、トラック・物流事業者様にに向けたシステムの開発・販売も行っております。

主な製品として、適正な運行を作成・管理する「ダイヤシステム」、乗務員の勤怠管理・配車を行う「運行システム」、車両情報を管理する「車両管理システム」、社員の教育履歴を管理する「教育管理システム」等、神奈川中央交通株式会社に導入し、日々改良を重ねている多くの製品群があり、これまで数多くの導入実績が

ございます。

これらのシステムは、バス・トラック・物流事業者の皆様に各種法規制への正確な対応や、車両管理コスト・輸送コストの削減、安全運行管理業務の効率化を実現する強力なツールとしてお役に立てるものと確信しております。

また、タクシー事業、不動産賃貸・分譲事業、飲食・ホテル事業、スポーツジム・ゴルフ場事業、ビル管理事業、自動車販売事業など、神奈中グループで手掛ける事業と同業の皆様に対してもシステム化のご要望にお応えしております。お見積りやご相談などございましたら、お気軽にご連絡ください。

Kanachu

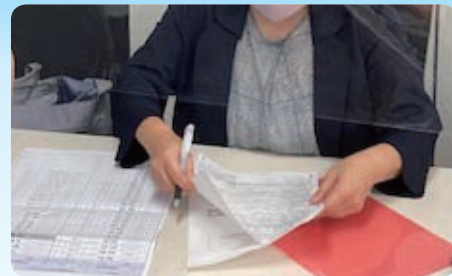
設立：2002年4月1日
資本金：7,000万円
売上高：8億9,447万円
社員数：45名
住所：神奈川県平塚市宝町3番1号
平塚MNビル11階
Tel：0463-22-8804
URL：https://www.kanachu-it.co.jp/

神情協にて職域接種を実施しました

6月に実施しました職域接種のアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。アンケート結果を元に、実施いただける医療機関等を探し、東京での接種が日時限定で費用が発生しますが、枠を押えることができました。

今回はアンケートの中で費用が発生しても社員接種を希望する企業に対し、場所が新宿、日程も第1回目は日曜日とピンポイント、2回目は数日に分かれるなど限定的となりましたが、どうにか希望いただいた会員企業様に接種が確定（22社、375名）しましたのでご報告いたします。接種当日は、神情協事務局員が現地で受付業務を実施いたしました。今回アンケートにお答えいただき、希望されたのに横浜

会場での実施ができなかったり、日程が合わないなどの理由で断念された会員企業様には、ご期待に沿えず申し訳ございませんでした。確定に時間がかかり、ご報告が遅れましたこと、深くお詫び申し上げます。皆様のお役に立てるよう、各種イベントなども推進いたしますので、今後ともご協力のほど、宜しくお願い致します。



株式会社ティー・アイ・ジェー

■自己紹介

はじめまして。今年で10年目を迎え、西区平沼で旅行業および国内外でご利用可能な大容量クラウドWi-Fiサービス「ハマのベイWi-Fi」をはじめSIMカード、携帯電話などのモバイル機器レンタルサービスを展開しております。神情協には、2014年度に株式会社ユーズウェア小川名社長にお声がけいただき入会させていただきました。今年より企業経営委員会に所属させていただくこととなりました。

■対応サービス

当社は創業以来 国内外の個人旅行、小グループを中心に徹底したサービス、出張コスト削減のご提案や、海外駐在経験などで見識の深い、北米エリア、グループ会社で拠点をもつタイ、インドネシアをはじめとした東南アジア諸国における視察をはじめとしたあらゆる渡航ニーズへお応えしております。また、海外からのインバウンド対応もグループ会社と連携し行っております。

コーディネート分野では、「幸せ！ボンビーガール海外移住計画」編や情熱大陸はじめ、宝塚歌劇団衣装海外買い付けなども多数手がけてまいりましたので、東南アジア諸国におけるマーケティングリサーチや撮影許可、アポイント取りなどにも特化しております。宝塚歌劇団のチケットなども優先的かつ確実に手配できるのも特徴です。

■メッセージ

観光業の形も年々変化してきております中で、ポストコロナにおける海外渡航などはオンラインではクリアにならない課題も多くなってまいります。そんな中で、従来の売だけの旅行会社ではなく海外での実務知識も伴っておりませんと安心できない部分も多々生じるかと思えます。またオンライン会議などの浸透による出張コスト削減という点では、海外でのアポイント調整、オンライン会議セッティング、通訳、翻訳対応、海外からのIT人材の確保、委託先開拓という点でもグループ会社株式会社リレーション・ジャパン（<https://www.relation-inc.jp/>）との連携でお応えできる点は多々あるかと思えますので、お気軽にお問い合わせいただけましたら嬉しく思います。誠心誠意ご対応させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



連絡先

〒220-0023
横浜市西区平沼1-3-13 大勝ビル4階
TEL 045-624-9221 FAX 045-328-3096
E-mail: support@ti-j.co.jp 【担当】加藤

新会員 INFORMATION

■正会員

株式会社SKサポートサービス
横浜市戸塚区品濃町
代表 鈴木 栄二郎
<http://skss.jp>
TEL 045-826-8600
業務 情報処理サービス業

■正会員

株式会社日本コンピュータ開発
海老名市中央
代表 満川 成利
<http://www.nck-tyk.co.jp>
TEL 046-234-7066
業務 業務用システム受託開発、IT汎用コンサルティング、ネットワーク・インフラ構築、自社サービス提供（製造業/不動産向け）
■正会員
株式会社富士ミライ

厚木市中町

代表 山口 雅数
<https://www.fjmirai.co.jp>
TEL 046-294-1064
業務 WEBシステム開発、組込制御システム開発、IoTシステム開発、ネットワーク・セキュリティ・クラウドの設計・構築・運用
■正会員
アリスファテック ジャパン株式会社
横浜市中区桜木町
代表 アブドゥラー・タリク
<https://arisaftech.co.jp/>
TEL 090-6168-1266
業務 システム開発、ウェブサイトのR&D、新規事業開発、外国直接投資サポート
■正会員
株式会社ヒューマニクス
東京都千代田区九段南

代表 西 薫

<http://www.hmx.co.jp>
TEL 03-6261-6929
業務 パッケージシステム企画開発販売、各種システム受託開発 等
■正会員
株式会社 Fabbi Japan
東京都港区芝大門
代表 小泉 潔
<https://fabbi-japan.jp/>
TEL 03-6806-0790
業務 業務系システム開発、スマートフォンアプリ開発、WEB開発
■賛助会員
第一生命保険株式会社 神奈川営業局
横浜市神奈川区金港町
代表 吉田 郷
<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

TEL 045-461-8410

業務 生命保険業
■特別賛助会員
特定非営利活動法人LPI-Japan
東京都千代田区内幸町
代表 鈴木 敦夫
<http://lpi.or.jp>
TEL 03-6205-7025
業務 OSS/Linuxなどの技術力を中立的な立場で認定する活動を通じ、下記のことを行っています。
1) 日本のITプロフェッショナルの技術力を高める。
2) 日本のITプロフェッショナルをオープンソースの世界に導き、能動的な貢献を前提とする世界で活躍出来るようにする。
3) 日本の経営者のオープンソースムーブメントに対する理解を深める。